



2015年度 上期 決算のご説明

(2015年4月1日～2015年9月30日)

上期:車載分野が続伸し、増収増益
通期:中国経済の減速など懸念があるが、据え置き

2015年10月29日
本多通信工業株式会社
代表取締役社長 佐谷 紳一郎

HTK 本多通信工業



1-1. 2015年上期の業績

8%増収、純利益11%増
中期計画“DD15”の最終年度を順調にターン

単位:百万円

	14年上期	15年上期	前年比	上期	計画比	通期	進捗率
	(利益率)	(利益率)		業績予想		業績予想	
				(利益率)		(利益率)	
売上高	8,098	8,729	108%	8,400	104%	17,700	49%
営業利益	647 (8.0%)	739 (8.5%)	114%	700 (8.3%)	106%	1,500 (8.5%)	49%
経常利益	704 (8.7%)	730 (8.4%)	104%	700 (8.3%)	104%	1,530 (8.6%)	48%
純利益	609 (7.5%)	678 (7.8%)	111%	630 (7.5%)	108%	1,350 (7.6%)	50%

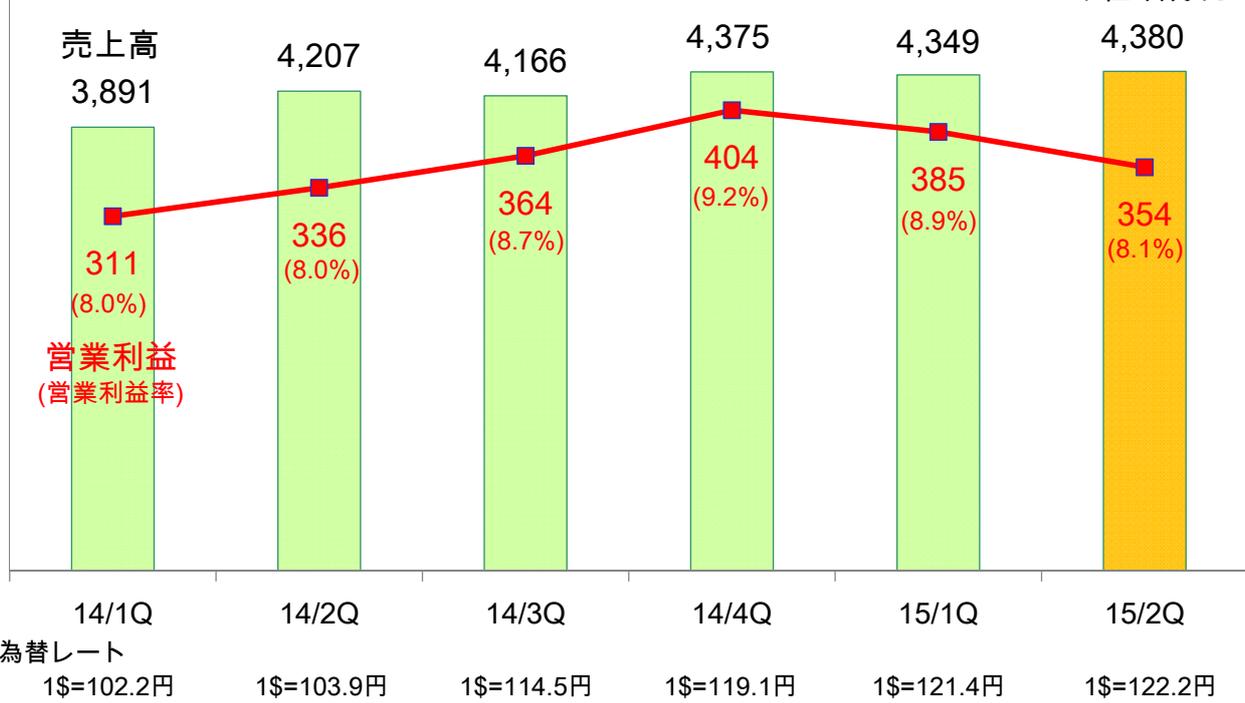
HTK 本多通信工業



1-2. 四半期業績推移

5四半期連続で売上>40億円、利益率>8%
製品ミックス&戦略投資により1Q比で減益

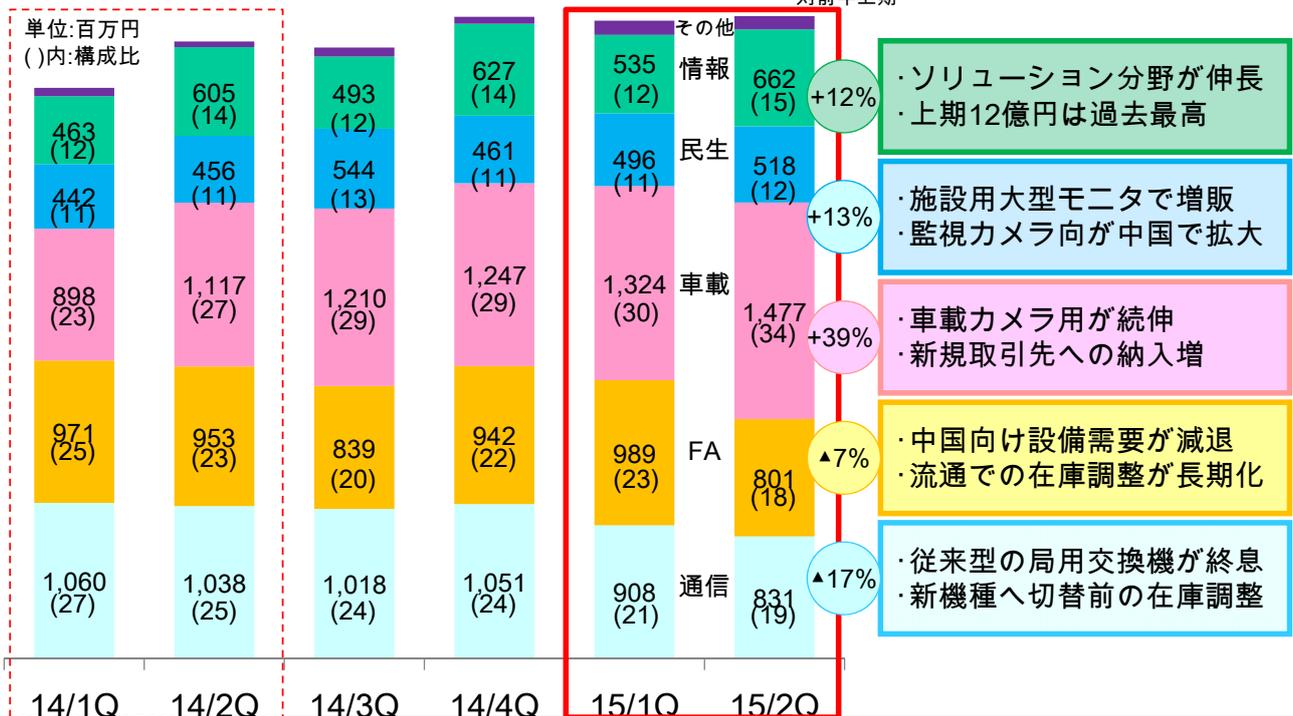
単位:百万円



1-3. 分野別推移

基幹分野(通信/FA)での減販を車載でカバー
情報システムと民生の増販で純増

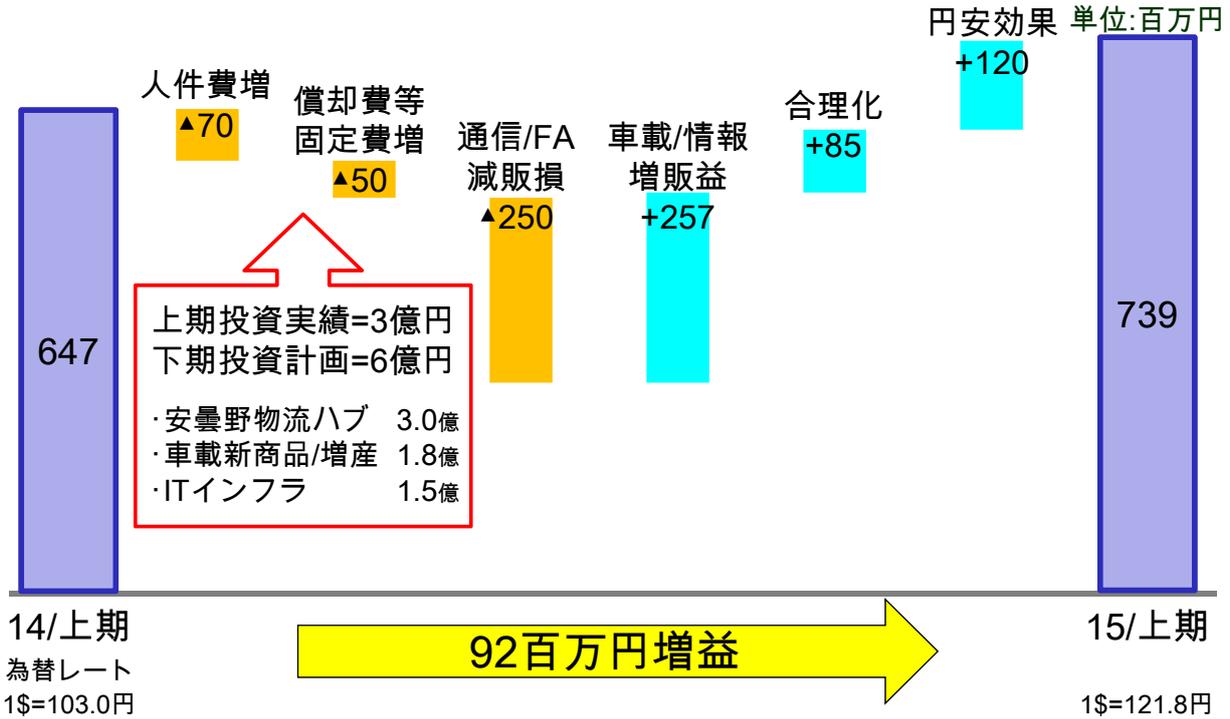
対前年上期





1-4. 営業利益 前年比較

基幹分野の減販損を車載/情報システムの増販益でカバー
 戦略投資による固定費増を合理化と円安効果で吸収



上期投資実績=3億円
 下期投資計画=6億円

- ・安曇野物流ハブ 3.0億
- ・車載新商品/増産 1.8億
- ・ITインフラ 1.5億



1-5. 上期の基盤整備状況

期初計画通りに進行中

海外

製造基盤の拡充

国内

車載アセアン事業体制の構築

- ・タイ販社を設立、業務開始に向け準備
- ・ラオスでの量産試作を開始

来春
業務開始



タイ販社入居ビル外観 事務所

安曇野物流ハブの建設

- 12月の完工に向け順調
- 多品種少量を支える運用/業務フローを検証

来春
本稼働



物流ハブ外観 フロア

新事業 技術基盤

高速POFの技術確立

エンジニアリングサンプルが完成、展示会に出展予定

12月
技術発表



アクティブタイプとパッシブタイプの2種類を開発



2-1. 市場別の3Q売上見通し

2Qの受注不振により3Q売上は苦戦を予想

14/1Q売上を 100とした指数	2014年度				2015年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
通信	100	98	96	99	86	78	→
FA	100	98	86	97	103	83	→
車載	100	124	135	139	148	164	→
民生	100	103	123	104	108	117	↗
情報 システム	100	131	107	135	116	143	→
全体	100	108	107	112	112	113	→

通信：FTTH向けの在庫調整が継続するも、新案件などで受注は3Qから増勢

FA：主力ユーザでの在庫調整が一巡、10月から受注回復

車載：ほぼ当初F/C通りで進行中、タイ販社経由への商流変更時期が課題

民生：SDソケットUHS-IIの搭載機種拡大、中国監視カメラ市場が好調

情報：ソリューションビジネスは拡大基調も、季節要因で3Q<2Q

HTK 本多通信工業



2-2. 2015年度 通期業績予想

中国経済の減速など懸念はあるが、
DD15の完遂に向け“据え置き”、“戦略投資はオンスケ推進”
単位:百万円

	2015年度					
	上期実績 (利益率)	前年比	通期予想 (利益率)	前年比	上期 進捗率	
売上高	8,729	108%	17,700	106%	49%	
営業利益	739 (8.5%)	114%	1,500 (8.5%)	106%	49%	
経常利益	730 (8.4%)	104%	1,530 (8.6%)	98%	48%	
当期利益	678 (7.8%)	111%	1,350 (7.6%)	94%	50%	

HTK 本多通信工業